

選挙に関する調査結果

市政モニターの皆さまを対象に2016年9月に「選挙」についてご意見をおうかがいしました。ご回答していただいたモニターの皆さまには、厚くお礼申し上げます。

■有効回収率：86.3%

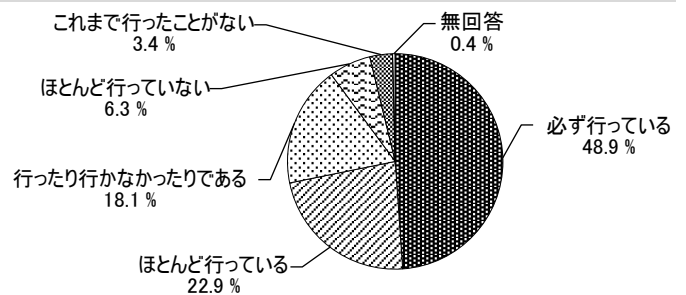
■有効回答者の構成割合について

男性：43.1%、女性：56.6%、無回答：0.3%

20歳代：6.5%、30歳代：16.1%、40歳代：21.0%、50歳代：17.1%、60歳代：19.5%、70歳以上：19.5%、無回答：0.3%

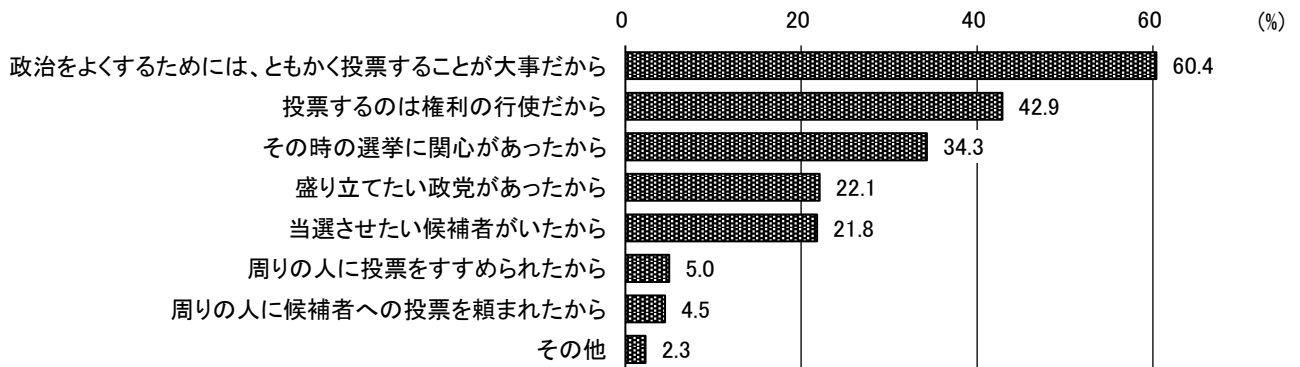
問 あなたは、ふだん選挙の際に投票に行っていますか。

「必ず行っている」「ほとんど行っている」と回答した人を合わせると、約72%の人が概ね投票に行っている結果となりました。一方、「ほとんど行っていない」「これまで行ったことがない」と回答した人は、合わせて約10%でした。



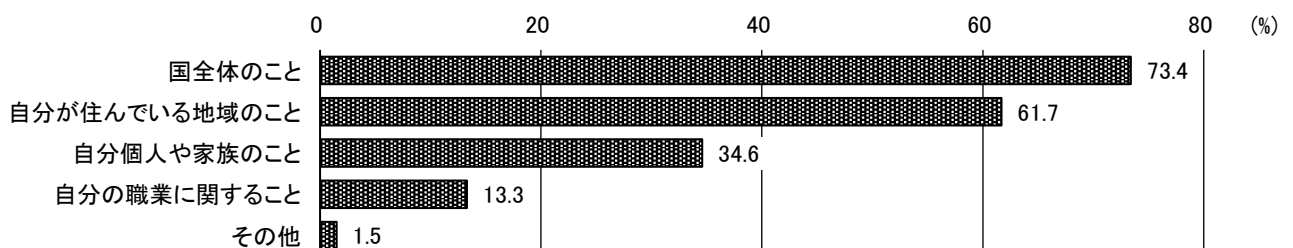
問 過去に投票に行ったのはどういう理由からですか。

過去に投票に行ったことがある人のうち、約60%の人が「政治をよくするためには、とにかく投票することが大事だから」と回答しています。



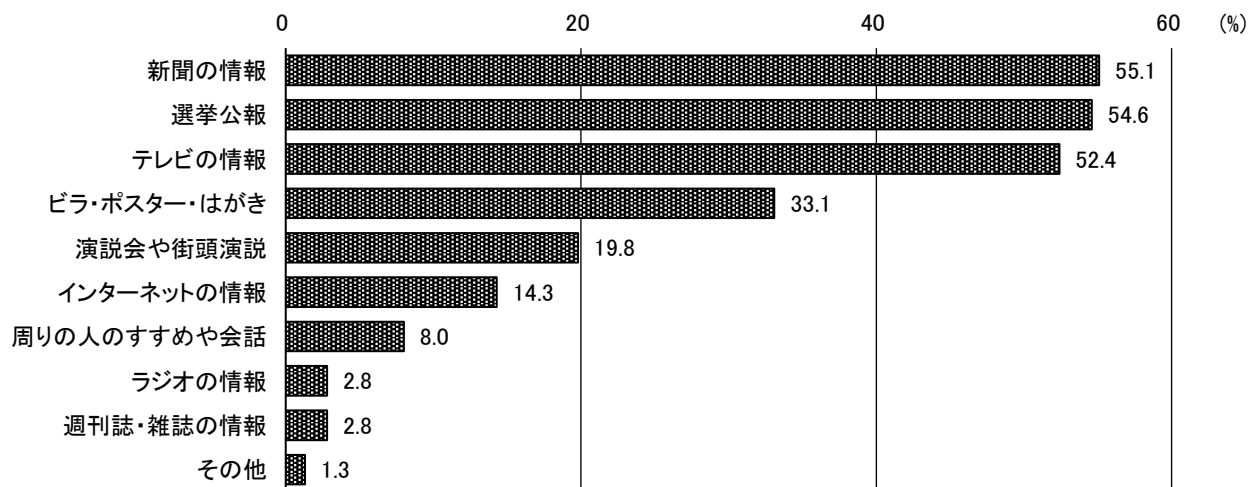
問 あなたは、どのようなことを考えて、選挙で投票する候補者や政党を決めますか。

過去に投票に行ったことがある人のうち、約73%の人が「国全体のこと」を、約62%の人が「自分が住んでいる地域のこと」を考えると回答しています。



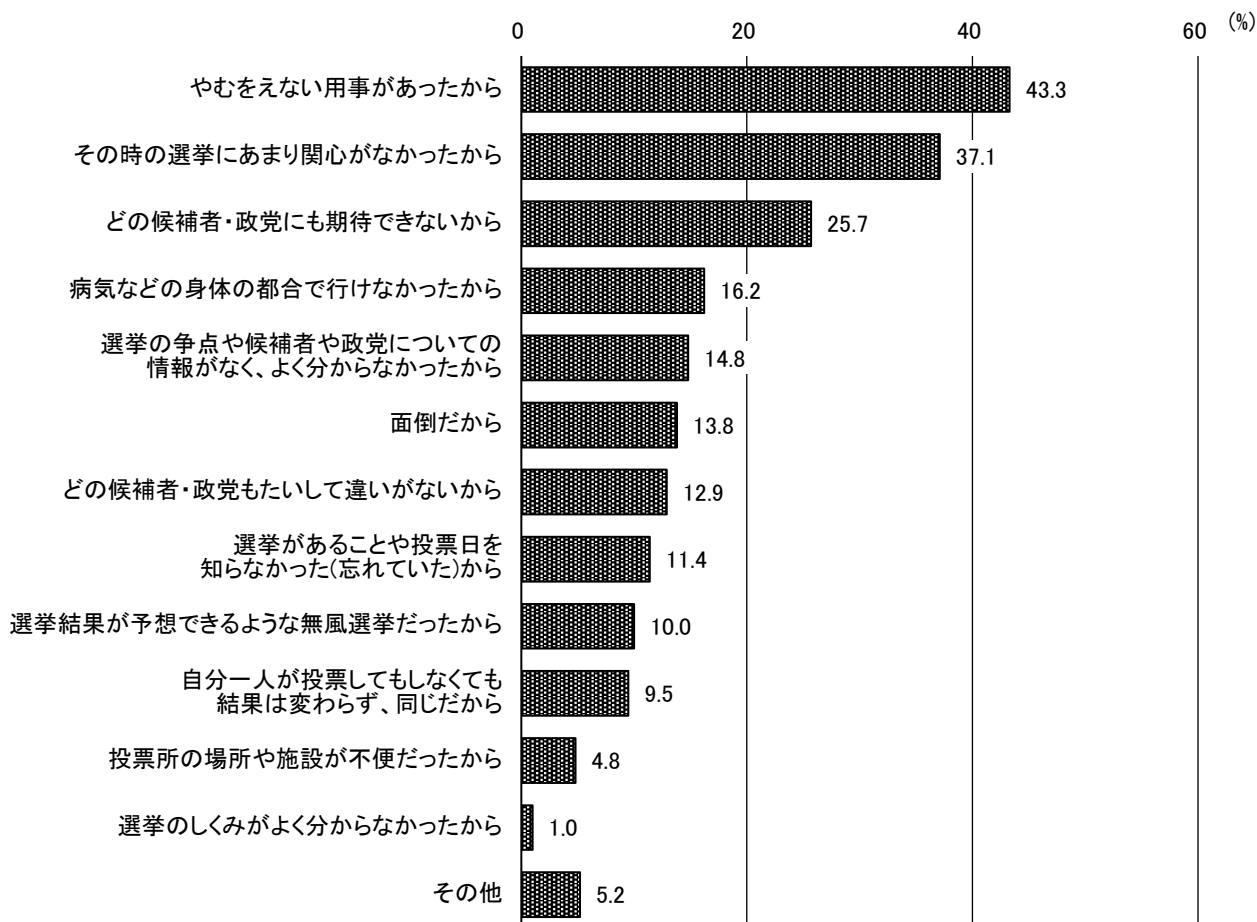
問 あなたが選挙で投票する候補者や政党を決める際に、役立っていると思うものは何ですか。

過去に投票に行ったことがある人のうち、「新聞の情報」「選挙公報」「テレビの情報」が役立っているという人がそれぞれ50%以上となっています。



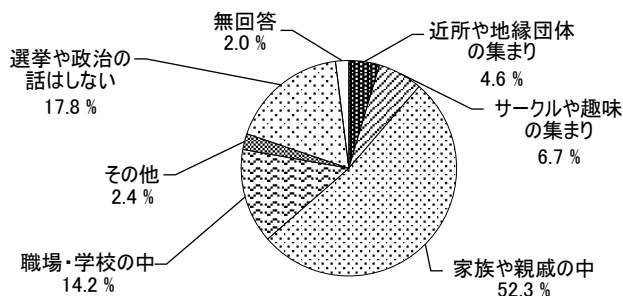
問 過去に投票に行かなかったのは、どういう理由からですか。

過去に投票に行かなかったことがある人のうち、約43%の人が「やむをえない用事があったから」と回答しており、次いで「その時の選挙にあまり関心がなかったから」「どの候補者・政党にも期待できないから」などを理由としてあげています。



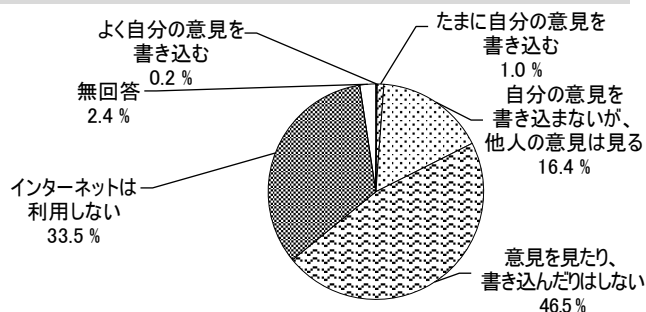
問 あなたが選挙や政治の話をするのは、主にどういう場ですか。

選挙や政治の話をするのは、「家族や親戚の中」という人が約52%を占めています。一方、「選挙や政治の話はしない」という人は約18%でした。



問 あなたはインターネット上（電子掲示板・フェイスブック・ツイッター・ライン等のSNS・電子メールなど）で選挙や政治についての意見交換をすることがありますか。

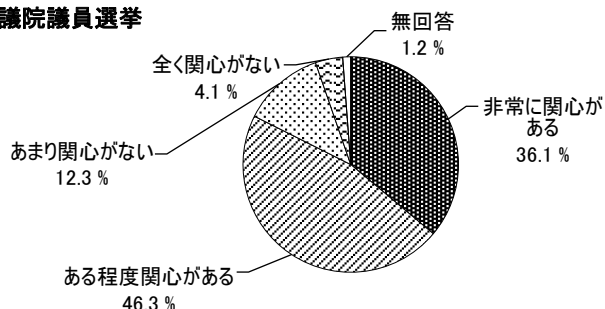
インターネット上での意見交換について、約47%の人が「意見を見たり、書き込んだりはしない」と答えており、次いで「インターネットは利用しない」「自分の意見を書き込まないが、他人の意見は見る」という回答が多くなっています。



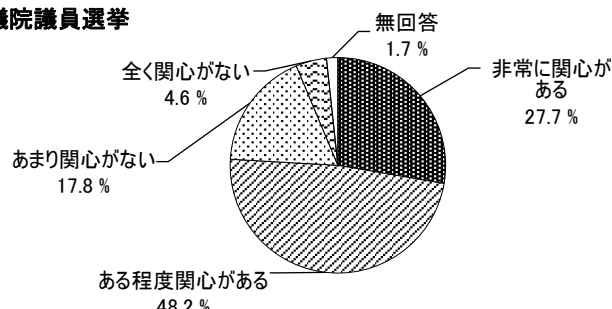
問 あなたは次のそれぞれの選挙について、どの程度関心がありますか。

それぞれの選挙について「非常に関心がある」が最も高いのは、「市長選挙」で約42%となっています。

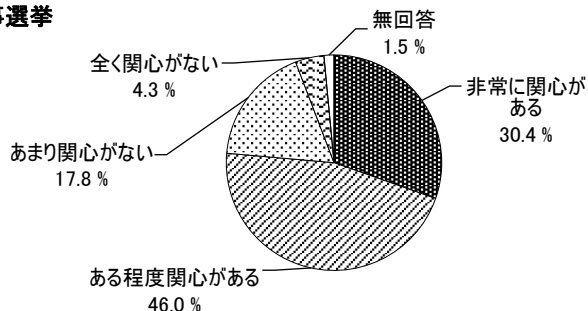
衆議院議員選挙



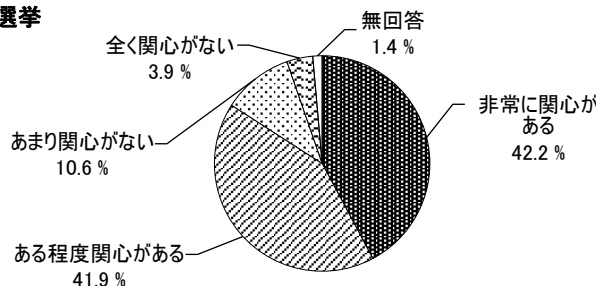
参議院議員選挙



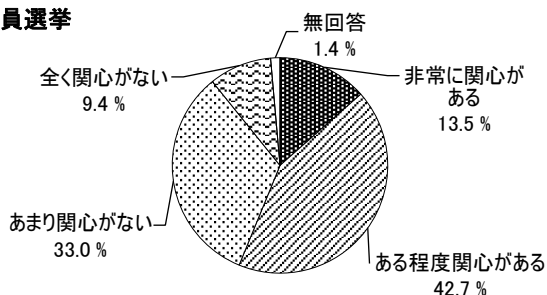
知事選挙



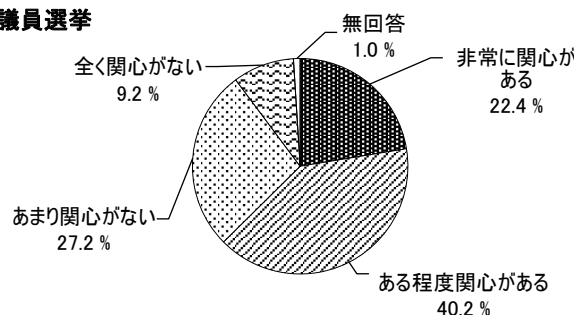
市長選挙



県議会議員選挙

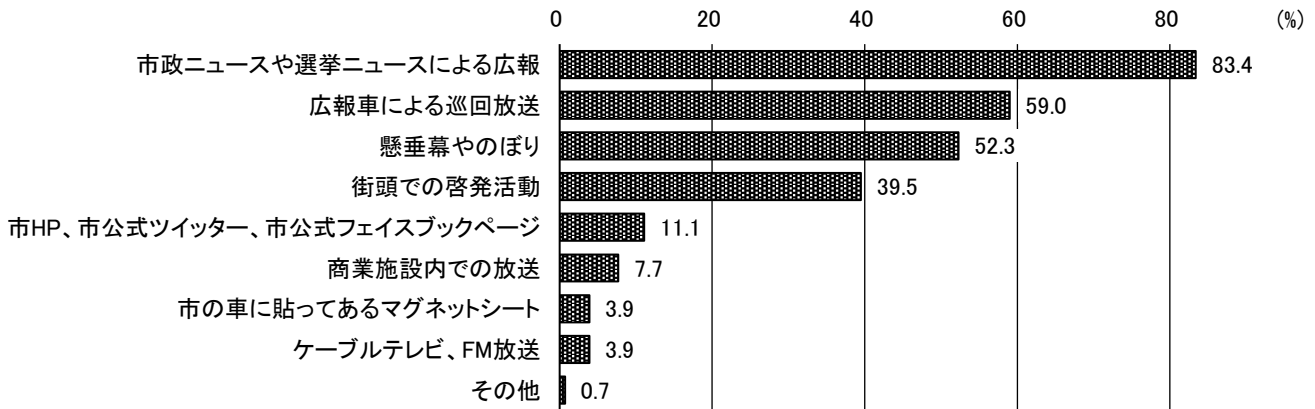


市議会議員選挙



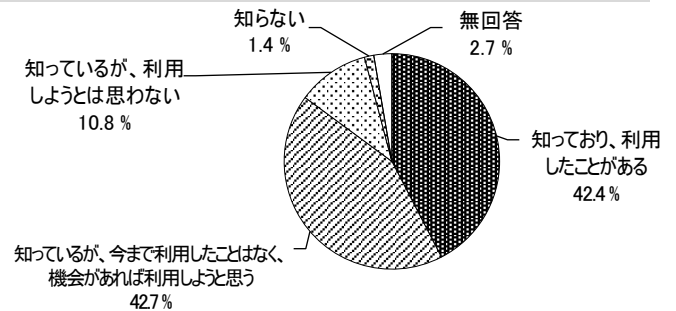
問 選挙管理委員会では、さまざまな方法で選挙の広報をしています。次のうちで、これまでにあなたが
見たり聞いたりしたものはありますか。

選挙の広報について見聞きしたことがあるものは、「市政ニュースや選挙ニュースによる広報」が約83%と最も多くなっています。



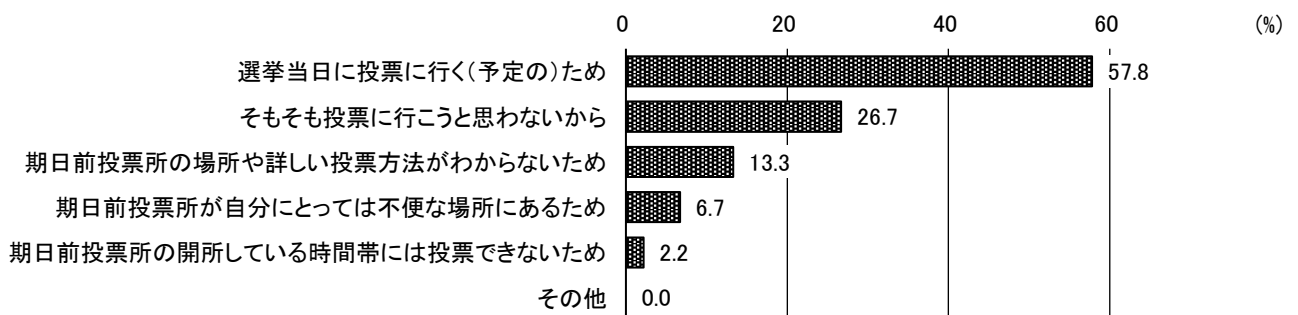
問 あなたは、投票日当日に投票に行けない方のための「期日前投票制度」をご存知ですか。

「期日前投票制度」について、「知っており、利用したことがある」と「知っているが、今まで利用したことはなく、機会があれば利用しようと思う」を合わせると、約85%の人が期日前投票制度利用の意向があることがうかがえます。



問 「期日前投票制度」を利用しようとは思わない理由は何ですか。

「期日前投票制度」を知っているが利用しようとは思わない人のうち、約58%の人が「選挙当日に投票に行く（予定の）ため」と回答し、次いで約27%の人が「そもそも投票に行こうと思わないから」と回答しています。



問 近年、選挙の投票率が低い状態が続いていますが、あなたはこのことについてどのようにお考えですか。

選挙の投票率が低い状態について、約48%の人が「対策をとることで、投票率は上がると思う」と回答しています。次いで、「対策をとる必要はあると思うが、それでも上がるとは思えない」と回答した人が、約27%となっています。

